

【Zoomを使ったオンライン講座】

＜大阪科学技術センター・同志社ビジネススクール共催＞

オープンイノベーションマネジメント実践講座

～企業の成長を実現する人と組織の正しいマネジメントの実践～

【本講座の狙い】

日本企業が成長できない根本原因はそのマネジメントにある。低成長に喘ぐ日本企業の大部分は戦後からバブル崩壊までの成功体験に依拠したマネジメント方法から脱しきれていない。欧米企業をお手本に世界のトップに立った 80 年代後半以降も、先行指標のない未踏のビジネスを自ら開拓しなくてはいけない状況にあるにもかかわらず、マネジメントの方法論は高度成長期のやり方を踏襲していることに、何の疑問も抱いていないビジネスパーソンが多い。

今、世界経済は新型コロナウイルスのパンデミックにより未曾有の危機にさらされている。このような状況の中で、日本企業は新たな知見と様々な方法論を駆使して、この難局に立ち向かっていかなくてはならない。

本セミナーは、オープンイノベーションや両手遣いのマネジメント、リーダーシップやネットワーク理論等の企業の成長に関する最新の経営理論やフレームワークおよびそれを使いこなすための方法論を学ぶとともに、多様なケースを利用した受講者同士のディスカッションにより実践的なマネジメント能力を身に付けることを狙う。

【キーワード】

- ▶ オープンイノベーション
- ▶ 両手遣いのマネジメント(既存事業と新規事業／深耕と探索のマネジメント／PDCA と OODA)
- ▶ リーダーシップ
- ▶ ネットワーク理論

【参加により得られるメリット】

- ▶ オープンイノベーションの実践手法と要点、人と組織のマネジメント力
- ▶ 両手遣い(既存事業深耕と新規事業探索)のマネジメント力
- ▶ リーダーシップやネットワーク理論等の最新の経営理論やフレームワークの知識
- ▶ 具体的な企業のケーススタディによる成功と失敗の事例からの教訓
- ▶ 受講者同士のディスカッションによる実践的なマネジメント能力

【実施時期・回数】

[実施時期・回数] 2020 年 12 月～2021 年 2 月に、計 5 回実施 (Zoom を使用します)

【募集人数】

・30名(定員に達し次第、締め切ります)

【参加していただきたい方】

(主に、執行役員含む若手役員の方、部課長およびそれに準ずる役職者の方)

- ▶ 企業の研究開発を方向付けて新たな事業価値を生み出す業務についている組織の責任者
- ▶ 研究開発の最前線で研究開発を実践している方
- ▶ イノベーション推進部門の方
- ▶ 戦略・企画担当部門の方
- ▶ 事業化のための計画・実行に携わっている方
- ▶ 事業の新しい市場を探索している方々

【カリキュラム】

回・月日	時間	テーマ
第1回 (12/7)	13:00-17:00	【オープンイノベーションの基礎知識】 ・オープンイノベーションを支える組織と人材 ・オープンイノベーションの方法論 ・両手遣いの戦略 ～ディスカッション「オープンイノベーションを企業に定着させるためには」～
第2回 (12/21)	13:00-17:00	【ケーススタディ(1) P&G】 ・オープンイノベーションの阻害要因と促進要因 ・オープンイノベーションにおけるリーダーシップ ～ディスカッション「オープンイノベーションにおけるリーダーの役割とは」～ アドバイザー:井上福子(同志社大学大学院ビジネス研究科 教授)
第3回 (1/14)	13:00-17:00	【ケーススタディ(2) シスコシステムズ】 ・M&Aによる新たな能力の獲得 ▶ M&Aの目的はなにか? ▶ M&Aのプロセス(必須統合手順と状況に応じた統合手順) ～ディスカッション「M&Aの本質とは何か」～ アドバイザー:松本茂(京都大学経営管理大学院 特命教授)
第4回 (1/25)	13:00-17:00	【ケーススタディ(3) PlaceWare(ゼロックス PARCにおけるスピナウト)】 ・既存事業と新規事業 ▶ スタートアップの戦略 ～ディスカッション「アントレプレナー戦略を考えよ」～ アドバイザー:柿原正郎(グーグル合同会社 Head of Research, Market Insights APAC)
第5回 (2/8)	13:00-17:00	【特別講義】 ・西口泰夫(ジルフアルコン・テクノロジー・ジャパン 会長兼 CEO、元京セラ 会長兼CEO、前ソシオネクスト CEO) ・小原克博(同志社大学神学部教授、良心学研究センター長)

【プログラムの構成】

- ▶参加者には前もって事前課題を送ります。
- ▶5回の講座の成果を最大化するために、テキストやケースを使用して具体的な質問事項に答えを用意して参加頂きます。

セッションの構成

- ▶ 狙い・枠組みを提示します。
- ▶ ケース・グループ討議(4名程度/グループ)による考えのブラッシュアップを行います。
- ▶ 講義・自社のケースにあてはめながら議論を深めていきます。

インフォーマルディスカッションの活用

- ▶ 業種を越えて意外な発見ができます。
- ▶ 実践的ケースを講義後に、講師や他の参加者との意見交換、相互交流ができます。

【講師】

北 寿郎(きた としろう) 氏

同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授

名古屋大学大学院工学研究科修了(工学博士)。

専門分野はイノベーションマネジメント。ビジネススクールでは、オープンイノベーション、製品・サービス開発イノベーション、ビジネスモデルイノベーション、などイノベーションマネジメントを担当、ビジネス人材育成に力を入れている。

NTT 研究所に約 30 年在籍し、その間、磁気ディスク大容量化・高性能化の先駆的研究で「日本機械学会功績賞」を受賞。NTT コミュニケーション科学研究所の初代企画部長、研究開発本部人事育成担当部長、広報渉外部門長、知能情報研究部長、社会情報研究部長を歴任後、世界最先端の IT 国家を目指す政府の「e-Japan」戦略において、インフラとなる住民基本台帳ネットワークシステム構築の指揮を執った。

現在も IT 企業の社外取締役を務める実務家であり、また国内外の革新的経営を行う企業や経営専門家と強い繋がりを持つ。大企業エグゼクティブ向け技術経営セミナー、大手・中堅企業管理職向けのイノベーションマネジメント研修の実績多数。企業での実務経験および高い専門知識に基づく経営理論を駆使したハイスkill人材育成には定評がある。



【アドバイザ】

第 2 回	<h3>井上 福子 氏 (同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授)</h3> <p>～略歴～ 神戸大学博士(経営学)、インディアナ大学 MBA(アントレプレナーシップ専攻)、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス MSc (比較労使関係および人事管理) 日本企業に勤務の後、留学を経て、複数の国際機関および大手外資系企業に勤務。外資系企業では、部長職、人事本部長職等、要職を歴任。国際原子力機関(ウィーン本部)の人材計画課長、上級人事担当官を経て現職。</p>	
第 3 回	<h3>松本 茂 氏 (京都大学経営管理大学院 特命教授)</h3> <p>～略歴～ 神戸大学経営学研究科博士課程修了。PwC ディレクター、HSBC 投資銀行本部長、同志社大学大学院准教授などを経て城西国際大学大学院教授。 これまで 20 年間、M&A アドバイザーとして、米国や中国など 20 カ国 50 の企業の買収案件を助言。研究テーマは、海外企業買収の成否と相乗効果。</p>	
第 4 回	<h3>柿原 正郎 氏(グーグル合同会社 Head of Research, Market Insights APAC)</h3> <p>～略歴～ 1973 年兵庫県生まれ。現在 Google の東京オフィスにて、アジア太平洋地域の検索エンジンに関わる各種ユーザー調査や市場分析、及び検索広告の効果測定等の業務を統括。2013 年から 2018 年まで同社シンガポールオフィスにおいて、東南アジア地域のユーザー調査・市場分析等を統括。Google 入社以前は、Yahoo! Japan の基礎研究部門の研究員、関西学院大学商学部准教授等を務める。関西学院大学経済学部卒業、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス博士課程修了(Ph.D.in Information Systems)。</p>	

【特別講師】

第
5
回

西口 泰夫 氏(ジルファルコン・テクノロジー・ジャパン株式会社 代表取締役会長 兼 CEO、元 京セラ 代表取締役会長兼 CEO)

～略歴～

72年大阪教育大学大学院修士課程修了。75年京セラ(株)入社。取締役電子部品事業本部長、常務取締役情報通信本部長を経て、99年代表取締役社長、05年代表取締役会長兼 CEO。

京セラ(株)退任後は、09年同志社大学大学院ビジネス研究科客員教授。2019年1月には、米国のシリコンバレーで人工知能(AI)のチップ開発を手がける「ジルファルコンテクノロジー」の日本法人の代表取締役に就任し、京都から観光やものづくりへAI活用の提案に取り組む。また(株)ソシオネクスト 特別顧問、京都府産業支援センター「経営戦略会議」アドバイザー等 数々の企業・団体等で要職を務めるほか、世界中を飛び回り、激変するグローバル市場における技術経営の可能性を鋭い視点で探っている。



小原 克博 氏(同志社大学神学部 教授、良心学研究センター長)

～略歴～

マインツ大学、ハイデルベルク大学(ドイツ)に留学。1996年、同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士(神学)。

現在、同志社大学神学部 教授、良心学研究センター センター長。日本学術振興会学術システム研究センター プログラムオフィサーも務める。

専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治の関係、および、一神教に焦点を当てた文明論など。近著に「ビジネス教養として知っておきたい 世界を読み解く「宗教」入門」(日本実業出版社)がある。



【参加費(税抜き)】

- ・賛助会員:11万円/名
- ・非賛助会員:14万円/名

参加お申し込みを受領後、請求書を送付いたします。

【お申し込み方法】

別紙の参加申込書にご記入の上、事務局あてに、EメールもしくはFAXでお送り下さい。
原則、1社「3名」までのご参加とします。(定員に余裕がある場合は応相談)
できるだけ同一の方が、5回を通じてご参加下さい。

【受講方法】

- Zoomを使用します。初めてZoomを利用される場合は事前にZoomのソフトをインストールして使用できるように準備をしてください。インストールは無料です。
- 接続テストは、Zoomの公式サイトで事前に実施してください。(http://zoom.us/test)
- Zoomを使用できるPCをご用意下さい。(低速の通信回線、低スペックのPCは避けて下さい)
- お申込み頂いた方には、受講用のURLを後日メールでご案内します。
- 1つのお申し込みに対して、1名のみが受講いただけます。

【募集期間と受講のご連絡】

- 応募締切り:2020年11月26日(木) *定員に達し次第、締め切ります。
- 受講の連絡:お申し込みを受け取り後、事務局からご連絡いたします。

【お申込みおよびお問合せ】

一般財団法人 大阪科学技術センター イノベーション推進室(担当:篠崎)
E-mail:innovation@ostec.or.jp FAX 番号:06-6131-4754

オープンイノベーションマネジメント実践講座 参加申込書

E-Mail:innovation@ostec.or.jp または FAX:06-6131-4754

(大阪科学技術センター イノベーション推進室 篠崎宛)

申込締切日：2020年11月26日(木)まで

【お申し込みにあたっての留意事項】

- ・原則、全日程へのご参加がお申し込みの条件となります。

機関名：		
所在地：〒		
TEL：() — FAX：() —		
氏名	所属・役職	メールアドレス

個人情報の取扱いについて

- ・本ワークショップへのお申し込みにあたり、個人情報保護のため、(一財)大阪科学技術センターが適切に取り扱います。
- ・ご記入頂いた個人情報は、本ワークショップの運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連事業等のご案内以外には使用致しません。個人情報の取扱いは、当財団の「個人情報保護規程」に従って対応いたします。